

市議会  
だより

# 東やまと

No.201

平成17年 1月1日  
(2005年)

東大和市議会  
〒207-8585

東大和市中心3丁目930番地

☎ 042 (563) 2111

FAX.042 (563) 5926



あけまして  
おめでとう  
ございます

狭山丘陵で越冬するルリビタキ

尾崎保夫	小松久	中浦誠二	佐村美夫	尾崎信雄	木下光民	関田正一	関田洋宏	藤原杜成	西川野庄太郎	石川治雄	押本洋右	粕谷庄一	中村由子	二宮りつ	長瀬治雄	大谷久美子	粕谷	議員(議席順)	下条学	副議長	森田憲二	議長
------	-----	------	------	------	------	------	------	------	--------	------	------	------	------	------	------	-------	----	---------	-----	-----	------	----

### ～ 台風・地震被災地に義援金を送付 ～

東大和市議会では、台風23号による被災地、新潟中越地震の被災地に対する義援金を募るため、農・商工まつり及び福祉祭において募金活動を行いました。

募金は22万円を超え、義援金として11月29日に兵庫県台風災害義援金募集委員会及び新潟県災害対策本部へお送りしました。

ご協力いただきました市民の皆様、大変ありがとうございました。・・・被災地の1日も早い復旧をお祈りいたします。



# 新春を迎えて 今年の抱負



(各会派内の写真は右から議席順に掲載してあります。)

## 新政会



押本 治雄



石川 庄太郎



森田 憲二



中村 庄一郎



粕谷 洋右

### 市民生活のさらなる向上に 引き続き努力してまいります

新春を迎え市民の皆様には心よりお慶び申し上げます。昨年中は市政に対して深くご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。平成16年は各地で多くの災害が発生しました。特に10月20日、台風二十三号に

た。現在も復旧されていない地域もあり、多くの市町村民の皆様方、関係各位の方々には、心よりお見舞いを申し上げます。さて、昨年の政府の報道等では、景気が回復して来ているとのことではありますが、現在の完全失業率は四・七％にも達し、まだまだ先の見えない状況との事であると考えられます。また、地方財政の状況は、引き続き大幅な財源不足は解消されず、極めて厳しい状況が続いています。今後も歳出の徹底した見直しによる財政健全化に努めてまい

ります。現在、三位一体の改革が進められていますが、新国会をいたしましては施策の全般的な見直しとともに、優先度を考慮し、選択をさらに行っていく必要があると考えます。そして市と議会がともに手を携え協力し、市民本意の行政を目指してまいります。新国会は、次の施策の実現に向けて今年も最大限の努力をいたします。

一、財政  
・ 行財政改革・バランスシートの活用・NPO、PFIの活用と支援・市民参加型の運営

二、教育  
・ 施設整備、環境整備  
・ 体育施設、広場の整備  
・ 教育ボランティア制度の充実・スクールカウンセラー制度の小学校への導入  
三、福祉  
・ 少子高齢化の対応・保育園待機児の解消  
四、防災  
・ 災害に強いまちづくり  
・ 安心、安全なまちづくり  
・ 防災施設の耐震強化  
・ 商店街の活性化対策  
・ 工業地域の整備  
五、環境  
・ 木製品のリサイクルセンターの設置(作業所常設展示場)  
・ ちよこバスの全地域への運行と各駅への乗り入れ  
・ 他市コミュニティバスの相互乗り入れ  
・ 市民サービス  
・ 市民本位の立場から  
十一、文化行政  
・ 郷土美術館の早期開園  
十二、生活安全条例の制定  
・ 早期制定を求める  
十三、ITの活用  
・ 電子自治体を目指す  
本年も市民の皆様の一層のご指導とご鞭撻を切にお願い申し上げます。

## 公明党



松浦 誠



下条 学



尾崎 信夫



佐村 明美



中間 建二

### これからの「地方の時代」を担い行く 新しい市政の構築をめざします

晴れやかな2005年の新春を心よりお慶び申し上げます。本年が皆様にとってすばらしい一年となりませうとお祈りいたします。公明党は、昨年11月に結党四十周年の佳節を迎えることができました。これもひとえに、市民の皆様方の真心からのご支援の賜物と衷心より厚く御礼申し上げます。私どもは、「大衆とともに語り大衆のために戦う」との立党の原点に立ち返り、市民生活を支える「身近な暮らしのサポーター

しかし、このような改革が行われたとしても、国も地方も多くの借金を抱える中で、地方自治体の財政が改善される見通しは立っていないのが現状です。当市がこれからの「地方の時代」を担い行くためには、徹底した行財政改革を推進し、「お役所仕事」と揶揄されるような旧来の古い慣習を打ち破り、市民の知恵と工夫を凝らした新しい地方自治のあり方を構築していかなければなりません。私どもは、この「地方の時代」を担い行く「トップランナー」の気概で、以下の六項目の重点政策を掲げて、新しい市政の改革に全力で取り組んでまいります。

一、効率的で健全な行財政運営をめざします  
二、暮らしと健康を守る福祉の充実を推進します  
三、安心して暮らせる防災対策を強化します  
四、教育環境の充実と文化芸術の振興を図ります  
五、未来を守る環境対策を推進します  
六、安心・便利・快適なまちづくりを推進します

一、安心して暮らせる防災対策を強化します  
・ 震災に備えた防災体制を整備  
・ 空堀川の改修と都市型水害対策の強化  
二、安心して暮らせる福祉の充実を推進します  
・ 子育て相談活動の充実と多様な保育形態への対応  
・ 性別役割分業の固定観念を払拭し、男女共同参画を積極的に進める  
・ ドメスティックバイオレンスの実態調査の実施  
三、安心して暮らせる防災対策を強化します  
・ 震災に備えた防災体制を整備  
・ 空堀川の改修と都市型水害対策の強化  
四、教育環境の充実と文化芸術の振興を図ります  
・ 障害者自立支援センターの整備  
・ 小児救急医療などの休日夜間の緊急診療体制の整備  
・ 五、未来を守る環境対策を推進します  
・ 図書館の休日開館の完全実施と読書活動の推進  
・ 図書館の休館日の完全実施と読書活動の推進  
六、安心して暮らせるまちづくりを推進します  
・ ちよこバスの運行ルートを拡充  
・ 武蔵大和駅のバリアフリー化  
・ 男女共同参画基本条例の制定  
・ 東大和市駅前の交番設置など防犯対策の強化

一、安心して暮らせる福祉の充実を推進します  
・ 子育て相談活動の充実と多様な保育形態への対応  
・ 性別役割分業の固定観念を払拭し、男女共同参画を積極的に進める  
・ ドメスティックバイオレンスの実態調査の実施  
二、安心して暮らせる防災対策を強化します  
・ 震災に備えた防災体制を整備  
・ 空堀川の改修と都市型水害対策の強化  
三、安心して暮らせる福祉の充実を推進します  
・ 子育て相談活動の充実と多様な保育形態への対応  
・ 性別役割分業の固定観念を払拭し、男女共同参画を積極的に進める  
・ ドメスティックバイオレンスの実態調査の実施  
三、安心して暮らせる防災対策を強化します  
・ 震災に備えた防災体制を整備  
・ 空堀川の改修と都市型水害対策の強化  
四、教育環境の充実と文化芸術の振興を図ります  
・ 障害者自立支援センターの整備  
・ 小児救急医療などの休日夜間の緊急診療体制の整備  
・ 五、未来を守る環境対策を推進します  
・ 図書館の休日開館の完全実施と読書活動の推進  
・ 図書館の休館日の完全実施と読書活動の推進  
六、安心して暮らせるまちづくりを推進します  
・ ちよこバスの運行ルートを拡充  
・ 武蔵大和駅のバリアフリー化  
・ 男女共同参画基本条例の制定  
・ 東大和市駅前の交番設置など防犯対策の強化

## 東大和21



粕谷 久美子



大后 治雄



長瀬 りつ



二宮 由子

### 今年も市政にハッキリと YES・NOを言ってみよう

昨年は台風や地震、集中豪雨などで、多くの方が被災されました。新しい年が明けるとはいえ、まだまだ日常の暮らしを取り戻すには、時間とお金と忍耐が必要です。復興に取り組み方々ボランティアで支える方々から心より感謝し、これからも出来る限りの応援を続けたいと思っています。

気候変動が思わぬ速さで身近に迫ってきています。災害がどれほど大きな人的・財政的損失を生み出すことが計り知れませんが、もし取り返しのつかないことになるのは目に見えています。現在ある防災計画を検証し直すなど、自分たちの足元から、できることをすくなく始めなければなりません。市財政がどんなに厳しくとも、市民の生命と財産を守るのは行政の第一義的な役割です。安心して暮らせるまちづくりを最優先に、市政に取り組んでまいります。

自治基本条例や市民公益活動支援条例の制定  
市民と行政のパートナーシップの構築  
住民参加・住民提案によるまちづくり施策の推進  
非営利活動団体の自発的・自主的な活動の促進  
学校や公共施設の耐震化の促進  
防災用品備蓄内容の充実  
環境基本条例制定後の基本計画に基づく省エネルギーへの多様な取り組みの強化  
資源循環型社会の構築とさらなるごみ減量の推進  
公共財としての学校施設の地域開放を進める  
学校教育での環境学習の推進  
学校図書室の整備・充実と専任の図書館司書の全配置  
中央図書館の開館時間の延長とウィークデー祝日開館の検討を進める  
子どもたちの育つ力を応援する制度づくり

市民本位の市政の推進に向け  
市と一体となり努力してまいります

昨年は、数多くの台風の襲撃や新潟中越地震など大きな自然災害が起り、年が明けた現在も避難所で生活等を行っている人も大勢おられます。被災地の現状を思うとき、「めでたさも中ぐらいかな」というのが、多くの市民の皆様共通の心

## 自民クラブ



関田 正 民



木下 光 雄



関田 貢

基本とした道路整備促進  
九、市内交通網の整備  
・ ちよこバスの全地域への運行と各駅への乗り入れ  
・ 他市コミュニティバスの相互乗り入れ  
・ 市民サービス  
・ 市民本位の立場から  
十一、文化行政  
・ 郷土美術館の早期開園  
十二、生活安全条例の制定  
・ 早期制定を求める  
十三、ITの活用  
・ 電子自治体を目指す  
本年も市民の皆様の一層のご指導とご鞭撻を切にお願い申し上げます。

# 新春を迎えて 今年の抱負

## 日本共産党

### みなさんと力を合わせ 暮らしと平和への願い実現へ

あけまして  
おめでとうございます  
新しい年を迎え、国政と都政、市政改革のためにさらに奮闘する決意です。

小泉内閣が進めている「三位一体の改革」は、地方自治体に大きな困難をもたらすものとなっております。現実に2004年度に

おいて東大和市財政にも大きな影響が出ています。さらに、年金・医療・福祉・教育などあらゆる分野で後退が続いており、国民の暮らしは一段と厳しい状況に追い込まれています。

都政でもこの5年間、高齢者・障害者の福祉手当などの廃止・縮小、老人医療

費助成や特養ホーム運営費補助などの削減、都立保健所など施設の廃止・縮小で東京都の福祉予算は六六一億円も減らされています。

また、一人一人の子どもにゆき届いた教育をと、すでに全国四十二の道府県が実施している少人数学級も東京都は依然として実施しようとしていません。

日本共産党は、消費税の増税や定率減税の廃止など、国民に重い負担を押しつけることに反対し、無駄な大型公共事業を打ち切り、社会保障を予算の主役に変えるなど、税金の使い方を抜本的にかえ、国民の暮らしを応援する施策の充実を目指し、次の課題の実現のために全力をつくします。

**子どもと教育**・乳幼児医療費助成制度の拡大、保



西川 洋一



藤原 宏子



関野 杜成

### 劇的な一年を終えて…

#### 新年明けまして

おめでとうございます  
議員生活二年目に突入した16年度、議会議員の質の低さを痛感しました。我が議会では、まだまだ財源を必要とする提案や文句とも言える意見が、多くの議員から発言されています。確かに議員とは行政のチェック機能であり、問題提起を

するのが仕事ですが、今日の議員は問題提起だけではなく解決に向けての提案や情報を行政へ伝える事が今の行政改革に最も重要な事だと考えます。今日の財政難の中、いかに支出を抑え、よりよい市民生活の向上のために行政の効率化を図るかが市民からの期待であり議員の仕事だと考えます。

市政運営にはさまざまな意見を反映させていくことが、一番の解決方法につながります。現在、年間千件ほどの意見や要望が市政に寄せられておりますが、さらに多くの意見・要望などが聞ける体制を図って行き、すべての市民がいつでも、どこでも、気軽に市政について意見を伝えられるような体制を創る事に努力し、一つでも多くの政策実現に向けて日々努力してまいります。



小林 知久

### 良心にもとづき 考える行政を

#### 新年明けまして

おめでとうございます  
最近ようやく日程が読めるようになり仕事のリズムをつかみました。

今年は見えてきた課題の整理とそれについての体系的な勉強を深めるとともに、今まで以上に多くの市民の声を伺い、施策に反映させたいと思っております。

今年も御支援のほどよろしくお願ひします。

**市政への私の視点**  
昨年掲げた視点は引き続き今年も大事にします。忙しさを言い訳に理念を忘れていないか市民にわかりやすく情報提供できているか普段市役所に行けない人にも配慮しているか

**まず取り組むこと**  
福祉各分野の相談機能の整理・強化  
子育てニーズに応じたきめ細やかな施策改善  
利便性向上の提案  
環境保全のためのネットワーク構築  
学校緑化の研究  
市民が「使える」情報のHPへの掲載  
市の広報・公聴力の強化  
議会だよりの見直しと提供する議会資料の充実



尾崎 保夫

### 開かれたわかりやすい 市政をめざして

#### 新年明けまして

あけましておめでとうございます  
日ごろよりご支援、ご意見を賜り心より感謝申し上げます。

一人でも多くの皆様に、市政の現状を知っていただきたく、新聞折込みによる尾崎やすお市政報告を発行してまいります。

その時々議会の内容や私の考えを報告しております。

市議会の

## キャラクターマスコット募集

市議会だよりが200号を迎えた記念として、市民の方々に、より親しみを持っていただけるよう『市議会のマスコット』を募集します。

採用したマスコットは、タイトルの部分に入れ、継続して使用します。

**募集要項**  
規格 大きさは問いませんが、掲載時の大きさは、縦5cm横5cm程度になります。

**内容** 親しまれる議会・開かれた議会を象徴するもので、人物・風景等ジャンルは問いません。

**応募要領** 作品には、作者の住所、氏名、電話番号、作品の説明を添えて、左記にご郵送ください。（市内、市外在住は問いません。）

**締め切り** 平成17年2月末日 当日消印有効

**審査** 3月中旬開催予定の議会報編集委員会で審査します。

**送付・お問い合わせ先**  
〒207 8585  
東大和市中央3 930  
東大和市議会事務局  
キャラクター係  
電話 042 563 2111 内線2002

**編。集。後。記**  
今号における挨拶文の一部に、他の議員に対する一方的な批判の文章があります。議会報は議員個人の活動報告とは違い、公の発行物であり好ましくないことから、編集委員会として修正するよう申し入れし、本人と話し合いをいたしました。また、議長からも申し入れしましたが、変更の意思はなく、原文のまま掲載いたしました。